

川、田んぼ、水路の生きもの観察会開催

～生き生き子どもたちの魚つかみ体験学習～

県湖東地域振興局

愛西土地改良区

肥田町自治会

このたび、滋賀県、湖東地域振興局及び水土里ネット（愛西土地改良区）から「肥田の子供達の夏休みを活用して町の人みんなで楽しく生きもの観察会を開きませんか」の提案を自治会にいただき、早速に8月18日、猛暑の中で賑やかに新しい体験学習を開きました。

肥田町の大先輩の方々に伺いますと、昔は肥田の田んぼや生活につながるの深い宇曾川はもとより、肥田の町の中を流れている多くの水路、川はとても水が澄んで美しく多くの種類の魚が棲んでいて、魚が泳ぐのが上から良く見えたものだったとのこと。そして先輩達は自分で工夫して魚つかみの道具も考案し、学校から帰ると「魚つかみ」が一番の楽しみであったようです。そして掘んだ魚が夕食の大変なご馳走となって家族の団欒も更に深まったと、まちづくり委員会の大先輩、元持正三さんから教えてもらいました。また夏になると近くの川で町の子供たちは魚つかみと水浴びに明け暮れて皆真っ黒の健康児ばかり、夜ともなると川や田んぼのほとりでは、沢山のホタルが飛び交い、ホタルの観賞やかぶと虫つかみと忙しく楽しみました。ホタルは掘んで家の蚊帳の中にも放って楽しむ風情もあったとのこと。現在の時代の子供達には、さて「魚」との出会いと申しますと近くのスーパーの売り場で見ると時代もどんと変わってきているのではないのでしょうか。

今回は、今日では町の川や水路の環境も生活の進化とともに年々変化を辿ってきていますが、ここへ来て圃場整備事業や下水道設備の工事と進み、農業用水の流れも変わってくると川と田んぼと生きものとの関わりは、そして地域の人間との共生をこれからどのように保っていくかの課題があります。先ず現在の状況を子どもたちから大人までみんなで見つめ合って、一緒に考えていこうというのが今回の企画です。

実施の当日8月18日は、町では、肥田町の子ども会30名をはじめ自治会、農業対策委員会、まちづくり委員会の役員を含めての総勢46名、加えて湖東地域振興局、愛西土地改良区の方16名と観察指導の滋賀県立大の金尾先生に参加いただきました。

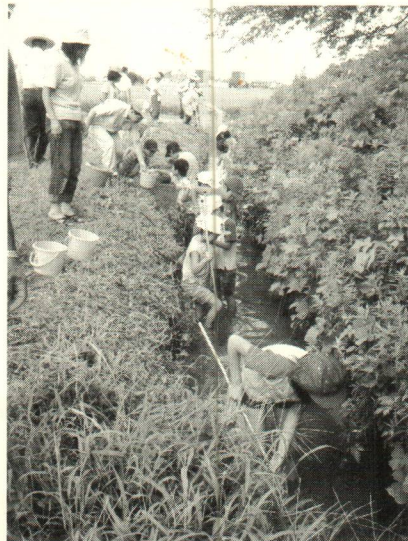
子ども達への主催者からの説明にも「田んぼや水路は、私たち人間がお米を作るために作った場所ですが、そこには多くの生きものが棲んでおり、つねに人と自然と一緒に生きてきた風景も残されています。

以前はナマズやフナが田んぼにやって来て卵を産み子どもが育

つ場所として利用されていたそうです。しかし現在多くの田んぼでは、環境が変わって多くの生きものが棲みにくい場所になっています。そのため各地で魚や水生昆虫の姿が減って来ました。田んぼの生きものが減ったため、魚をつかんだり、虫をとったりする子どもも減ってきました。小さな自然の中で、くらしている生きものをもう一度ゆっくり見直して私達と田んぼや川の生きものが仲良く一緒に暮らしていけるようにしていきたいものです。これからの圃場整備等で水の流れが変わっても、必ず魚たちが戻ってきて棲んでくれるように持っていきますよ。」子供達にもわかりやすく話し掛けていただきました。

観察会のご指導にお越しをいただいた県立大の金尾先生は、魚の博士で総てにたくしく、川を見ただけでもここに何の魚が住んでいると、この当日までも肥田の川に入って魚つかみを試みられ、もう田んぼの水路に魚は棲んでいないと思っていた私もまさかと驚く種類の収穫あり説明にも恐れいりましたが、当日は子供達を対象に興味深い解説をいただいた上で皆が元気に川に入って実際の魚つかみに楽しく興じました。終えてからは収穫のあった8種類の魚を個々に水槽に入れて、ひとつひとつをくわしく子供達にその生い立ちなどを話され、そばで聞いている大人たちまでも新事実これまた驚きで、日常ではさりげなく川を見つめていた子供達にも沢山の新しい発見の得られた楽しい嬉しい時間となったと思いました。また自然と生きものと地域の人々との共存をお互いにしっかりとらまえることが出来たのは大きかったと思います。

当日に肥田の水路で獲れた魚たちは、次の通り通常はボテジャコと言われるタイリクバラタナゴ、ヤリタナゴ、背中に線のあるタモロコ、銀フナ、カワムツ、ヌマムツ、ドジョウ、35センチはあるスッポンが二匹、たくさんのメダカ。その他には魚の餌になる貝類が多数ありました。



hida

広報

ひだ

町木



第35号

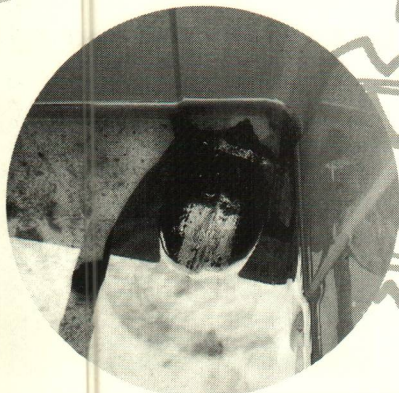
肥田町

郷づくり委員会

H16.10.5発行



2004.08.18



写真で見る

町の活動特集



第2回 夏休み子ども座禅の集い
7月22日 指導 崇徳寺
高瀬俊英さん

まちづくり委員会

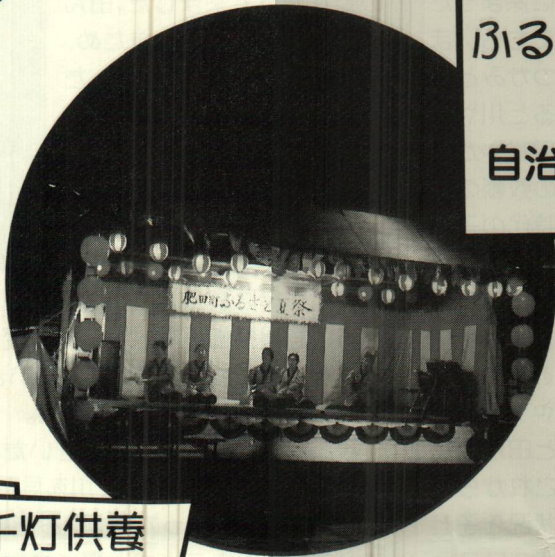


夏休み毎朝、
元気にラジオ体操
子ども会



ふるさと夏祭り風景
8月14日

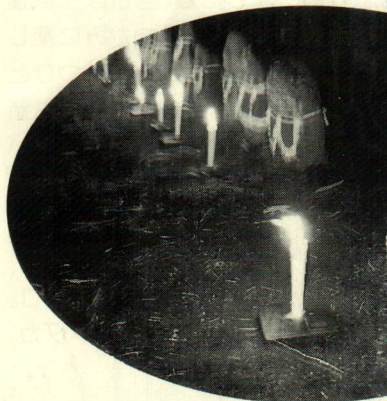
自治会文教部



みなさんが分別回収された
アルミ缶をリサイクル
工場への搬入 9月8日
自治会とボランティア
サークルと
まちづくり委員会



肥田城主千灯供養
崇徳寺墓所にて
8月15日
まちづくり委員会



身近に盗難・詐欺が多発しています。
気をつけましょう。

**オレオレ
詐欺**

稲枝東小学校前では
車上狙い

振り込まぬ
先の相談を

東学区内で
高級四輪駆動車を狙った
盗難事件

警察相談

077-525-0110
又は #9110



生きもの観察会 豆知識 ひとくちメモ

カワムツ…コイ科の淡水魚。全身20センチ、体側に暗青色の一本の縦帯がある。繁殖期の夏は体が赤くなる。

ヤリタナゴ…コイ科の淡水魚。全長10センチ、体高がやや高く口ひげが長く体色は青みがかったの銀白色。

すっぽん…カメ目スッポン科の爬虫類、甲長35センチ。日本、朝鮮半島、中国、インドネシア北部の川に生息。

メダカ…メダカ目メダカ科の淡水魚、本州以南に分布し、地方名も多くて、ヒメメダカ、シロメダカは観賞用。

メダカは多く飼わないと繁殖せず死に易くなる。

その他…金魚はフナを原種とする観賞用の淡水魚で中国が原産で日本へは1502年に渡来。

